

細案 ※※授業の時間配分は目安です。

導入

10分 (0~10分)

(ワークシートを配る。今日(または昨日)食べた給食に出た献立名と食品のカードを掲示する)

○「ワークシートの食べ物は今日(または昨日)食べた給食に出た食べ物です、食べ残した食べ物に○を付けてください。食べ物の中でも食べると体ぶつぶつができるなどアレルギーのある食べ物がある人はその食べ物は食べられないので○をつけなくてもかまいません」。

○「食べ残した食べ物に手をあげてください」

(食品の名前を読んで手を挙げた児童の人数を書く)

展開

5分 (10~15分)

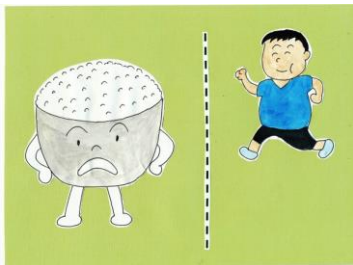
○『残した食べ物が沢山ありましたね。これから食べ物さんが、食べ残されたらどう思っているのか、また、食べ物にはどんな働きがあるのか「すきなものだけたべないで」の紙芝居をします』

(紙芝居を読む)

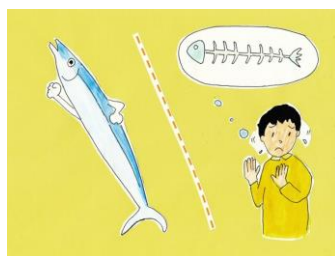
5分 (15~20分)

○「食べ残された、食べ物たちがしゃべったことを発表してください」

(たべないりゆうの文字カード、紙芝居の絵、言葉の一部を隠した文字カードを掲示する)



こえる から



ほねがあるから



あじやにおいが

(児童) 「ごはんはこえるからたべない」

(児童) 「魚はほねがあるからきらい」

(児童) 「ほうれん草はあじやにおいがきらい」

(言葉の一部を隠した文字カードの文字を見せる)

5分 (20~25分)

○「ごはん、さかな、やさいをすきになるとどんないいことがあるのでしょうか。ワークシート2のごはん、さかな、やさいと、それぞれの働きをせんでむすびましょう。」

(児童がワークシートに記入している間、机間指導をして、学習の理解度を確かめる)

5分 (25~30分)

(ごはん、さかな、やさいの絵とそれぞれの働きの絵と文字カードを掲示する)



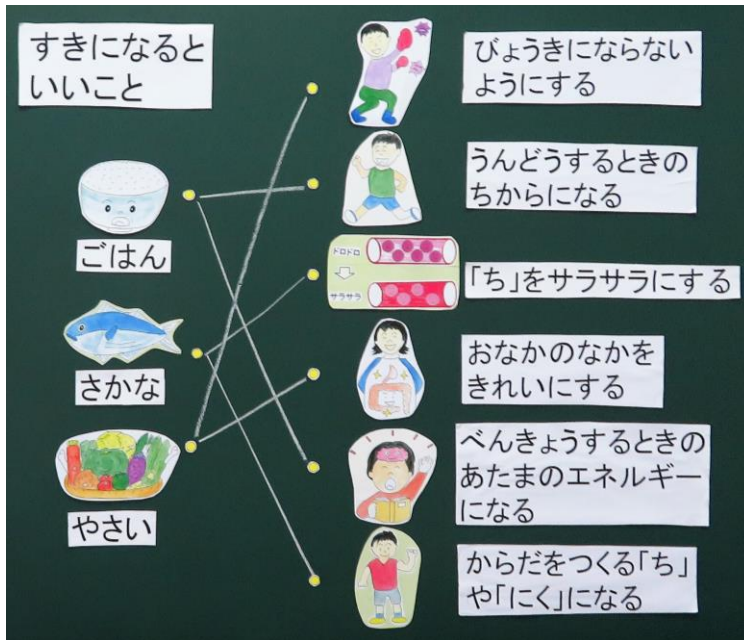
○「ごはん、さかな、やさいそれぞれの働きを発表してください」

(児童) 「ごはんはうんどうするときのちからになる」「ごはんはべんきょうするときのあたまのエネルギーになる」

(児童) 「さかなはからだをつくるちやにくになる」「さかなはちをサラサラにする」

(児童) 「やさいはびょうきにならないようにする」「やさいはおなかのなかをきれいにする」

(ごはん、さかな、やさいの絵とそれぞれの働きの絵を線で結ぶ)



5分 (30~35分)

○「ワークシートの結んだ線が間違っていた人は正しい線にむすびなおしてください」

(ごはん、さかな、やさいにはそれぞれ違った働きがあることから、食べ物には色々な働きがある事を気づかせる。また、食べ物たちの気持ちを考えてなんでも食べられるように促す。しかし、アレルギーなど体の理由で食べられない人には強制しないことを知らせる)

5分 (35~40分)

「ワークシートに今日の話聞いて「わかったこと」「おもったこと」ことを書いてみましょう。後で何人かに発表してもらおうと思います」

(児童がワークシートに学習の振り返りを書いている間、机間指導をして、学習の理解度を確かめる)

まとめ

5分 (40~45分)

○今日の話聞いて「わかったこと」「おもったこと」を発表してください

(児童) 「ごはんをたべないとちからがでない」「さかなはからだをつくる」「やさいをたべるとびょうきにならない」「すききらいしないで食べる」「きゅうしょくをのこさないようにする」

(児童の発表を板書する)

毎日を元気に過ごすために食べ物の色々な働きを思い出してください。食べ物さんたちは、皆さんが毎日元気に過ごしていけるように思っているのです。皆さんのために命をくれた、食べ物さんに感謝して好ききらいしないで残さず食べるようにしましょう。